

平成27年度事業報告

社会福祉法人 和光会

【 総括 】

国家財政が厳しさを増し、国民負担の増加が検討される中で、社会福祉法人に対する優遇措置の見直しが各種委員会で検討される情勢の一年でした。

このように、社会福祉法人には、明確な地域貢献を要求される一方、和光会としては、地価が高く特別養護老人ホームの未設置地域である竹原・雄郡地区において、地域密着型特別養護老人ホームの建設に取りかかり、平成27年5月より運営を開始致しました。しかしながら、職員の確保は当法人においても厳しく、教育・研修期間の不足もあってスタート時は、混乱が見られましたが、年度末には落ち着きを取り戻し、現在、安定した施設運営の状況となっております。

また、3年に1度行われる平成27年度の介護報酬改定は全体でマイナス2.27%となり、法人の財政運営が厳しくなることが想定されましたが、昨年度と同程度の収支状況となりました。

そして、松山市は昨年度、介護施設の建設計画を発表し、特別養護老人ホームの増築・増床計画を2カ所見込み、募集を致しました。グループホームや特別養護老人ホームの新規建設は、複数の応募がありましたが、増築・増床計画については、既存の土地や周辺地域の買収等の制限があり応募法人も少なく、当法人としては、急拠建設計画に着手し、地権者の同意や地区町内会長、水利組合長の賛同を得て、平成28年2月に松山市の指定を得ました。計画は、増築・増床部分の収入で建築借入金の返済が可能との試算の下、現在スケジュールどおりに進められております。

さらに、松山市は、平成29年度から新しい総合事業を開始することになっており、今後も厳しい運営状況となることが予想されますが、地域と共に発展し、行政の負託に応えられる法人となるように、理事者・職員が一丸となって努力して参ります。